

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和3年3月発行

広尾っ子応援団だより (No.38)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



十勝管内教育実践表彰を受賞…広尾っ子応援団

広尾っ子応援団が、十勝管内教育実践・活動表彰（北海道教育庁十勝教育局主催）を受賞しました。

この制度は十勝管内の学校教育、社会教育の向上に貢献している教育委員会、学校、機関、団体及び個人を表彰するもので、本年度は7学校1団体が選ばれました。

広尾っ子応援団は社会教育分野で唯一の受賞団体となっています。



表彰状の伝達

表彰状

広尾っ子応援団本部 様

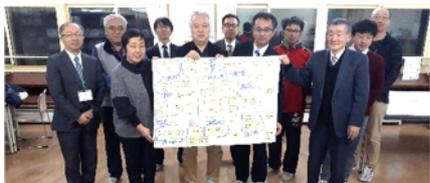
貴団体は未来を担う子どもたちの健やかな成長を地域全体で育む体制構築の推進に努めてこられました。コロナ禍においても地域全体で「学びを止めない」という意識の共有を図りながら地域住民や企業等と連携した子どもたちを見守る体制づくりや学校支援の取組を継続し「学校を核とした地域づくり」「地域とともにある学校づくり」の実現に大きく寄与するなど学校と地域をつなぐ役割として顕著な成果を上げられました。ここにその功績をたたえ表彰します。

令和三年三月十七日

北海道教育庁十勝教育局長
村上 由佳

表彰状の文面

表彰対象となった主な取組や活動



学校運営協議会と連携したCS推進



応援団登録・メッセージ活動



放課後読書等ふれあい広場



学校からの支援要望への協力



商工会と連携した応援団活動

広尾高校の「学校運営の基本方針」を承認

3月17日（水）広尾高校で学校運営協議会が開催されました。

会長に高橋正幸さん、副会長に山岸直宏さんを選出した後、教職員の自己評価や来年度の学校運営の基本方針について活発な議論が行われました。

【重点教育目標】

表現力を高める

- 主体的に学ぶとともに、コミュニケーション能力を高める。
- 礼儀を大切にし、対話的に協働しながら発表する機会を増やす。

令和3年度の重点教育目標は、前回の熟議で「育成したい資質・能力」として上げられた、「コミュニケーション力」、「内容を整理する力」、「読み・書き・言葉、読解力・知識欲」、「自信をもつ」を踏まえて設定されました。

この目標を実現するため、「表現力」に絞った授業公開週間を設けたり、各教科でグループワークやプレゼンテーションの機会を設けたりするなど、組織や教科等を横断して、「表現力」に重点をおいた指導を行う、との説明がありました。

*** 応援メッセージ ***

新型コロナウイルス感染症の流行から1年、ウィズコロナの時代の中で、私は仕事ができること・美味しいものが食べられること・家族や友達と会えることなど、「当たり前」と思っていたことが、実はとても幸せなことであると感じました。

学校に行き、勉強ができること・友だちと会い、遊べること・家族と一緒に暮らせることなど、皆さんにとっての「当たり前」は、この1年でどう変化していききましたか？

去年の今頃、広尾町内の学校は臨時休校となり、その後も分散登校やマスクの必着、学校行事の縮小・中止、学校外でも不要不急の外出自粛など、いろんな変化があったことでしょう。そんな状況の中でも、皆さんの「当たり前」を支えてくれた家族や先生に、ぜひ感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。私も自分の「当たり前」を支えてくれる方達に感謝の気持ちを伝えようと思います。

新型コロナウイルス感染症収束の目途は立っておらず、お先真っ暗な状況ではありますが、「当たり前」に感謝しながら、一緒に頑張りましょう。

(町外20代男性)

毎朝、1人、2人と、登校中の皆さんを窓から眺めています。

去年は、新学期が始まって2カ月、皆さんの姿が無い、静まり返った通りに出て、不安を通り越して、怖さのようなものを感じたのを憶えています。

学校に向かう皆さんから、平穏な1日の始まりを知らせてもらっていたことが分かりました。

ずーっと、皆さんが健康でありますように。1年間、ご苦労さま。

(町内60代男性)